



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月8日

東

上場会社名 トレンドマイクロ株式会社

上場取引所

コード番号 4704

URL <http://www.trendmicro.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) エバ・チェン

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) マヘンドラ・ネギ (TEL) 03-4330-7600

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	67,501	2.4	15,006	23.7	12,408	△9.2	8,858	△17.6
2024年12月期第1四半期	65,931	12.3	12,127	27.0	13,664	52.2	10,754	68.7

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 5,787百万円(△58.8%) 2024年12月期第1四半期 14,039百万円(65.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	67.46	66.94
2024年12月期第1四半期	79.31	78.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	362,650	104,065	27.7
2024年12月期	400,316	119,446	29.2

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 100,547百万円 2024年12月期 116,965百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	184.00	184.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2025年12月期の期末配当については未定です。

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	288,600	5.9	60,300	25.3	57,600	9.0	38,900	13.2	296.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年12月期 1 Q	140,901,604株	2024年12月期	140,901,604株
---------------	--------------	-----------	--------------

② 期末自己株式数

2025年12月期 1 Q	9,526,034株	2024年12月期	9,604,812株
---------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年12月期 1 Q	131,313,544株	2024年12月期 1 Q	135,601,194株
---------------	--------------	---------------	--------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高		
	2025年12月期 第1四半期	2024年12月期 第1四半期	増減率
日本地域	22,072	21,361	3.3%
アメリカズ地域	14,174	14,388	-1.5%
欧州地域	14,261	13,679	4.3%
アジア・パシフィック地域	16,993	16,501	3.0%
合計	67,501	65,931	2.4%

当第1四半期連結累計期間(2025年1月1日～2025年3月31日)における世界経済は、各国の金融政策が景気へ与える影響不安や地政学的リスクによる不透明感もあるなか推移いたしました。米国の新たな関税政策の影響により不確実性が高まっており今後の世界経済の見通しはより不透明になりつつあります。

情報産業につきましては、クラウドコンピューティングや生成AI（人工知能）が引き続き浸透し、2025年の世界におけるIT支出額は9.8%増の5.61兆ドルと見込まれています。

セキュリティ業界におきましては、引き続きランサムウェアを主としたサイバー攻撃が目立ち、国家機関や特定の企業または組織等を狙った標的型攻撃をはじめ、機密情報の漏洩被害等のサイバー攻撃に加え生成AIの普及に伴う新たなセキュリティリスクも著しく増加する等、企業や個人のセキュリティ意識が一層問われる状況となっています。

このような環境下、当社グループの経営状況は、以下のようなものでありました。

日本地域につきましては、セキュリティプラットフォームTrend Vision One™（以下、Vision One）を背景に、AI活用次世代SOC関連セキュリティ並びにクラウド関連セキュリティが同地域の法人向けビジネスを牽引し、ネットワーク関連セキュリティも伸長しました。個人向けビジネスは携帯電話ショップでの販売は成長継続しましたがPC向けセキュリティは低調でした。その結果、同地域の売上高は22,072百万円(前年同期比3.3%増)と増収となりました。

アメリカズ地域につきましては、法人向けビジネスはプラス成長となりました。AI活用次世代SOC関連セキュリティやクラウド関連セキュリティは不調でしたが、Vision Oneを背景にメール関連セキュリティは大きく伸長しました。一方、個人向けビジネスは新たなEC決済会社とのシステム構築に時間を要し、大幅なマイナス成長となりました。その結果、同地域の売上高は14,174百万円(前年同期比1.5%減)と減収となりました。

欧州地域につきましてはメール関連セキュリティは振るわず、ネットワーク関連セキュリティも低調でしたが、Vision Oneを背景にクラウド関連セキュリティが大きく牽引し、加えてエンドポイント関連セキュリティも伸長し、同地域の法人向けビジネスは好調でした。その結果、同地域の売上高は14,261百万円(前年同期比4.3%増)と増収となり、全地域において最も高く伸長しました。

アジア・パシフィック地域につきましては、法人向けビジネスは好調でした。エンドポイント関連セキュリティは低調でしたが、Vision Oneを背景にAI活用次世代SOC関連セキュリティが特に大きく貢献しました。一方で個人向けビジネスは新たなEC決済会社とのシステム構築に時間を要し、大幅なマイナス成長となりました。地域的には中東、台湾、シンガポールが同地域の売上を牽引しました。その結果、同地域の売上高は16,993百万円(前年同期比3.0%増)と増収となりました。

その結果、当社グループ全体の当第1四半期連結累計期間における売上高は67,501百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

一方費用につきましては、株価上昇に伴うストックオプション関連費用の増加があったもののクラウドコストが大きく減少する等、全般的に抑制でき、52,495百万円(前年同期比2.4%減)と減少し、当第1四半期連結累計期間の営

業利益は15,006百万円（前年同期比23.7%増）と増益となりました。

当第1四半期連結累計期間の経常利益は為替差損等により12,408百万円（前年同期比9.2%減）と減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は持分変動利益がなくなったこと等により、8,858百万円（前年同期比17.6%減）の減益となりました。

当社が重要な経営指標として意識しているP r e－G A A P（繰延収益考慮前売上高）ベースの営業利益は8,004百万円となり、前年同期に比べ3,647百万円減少（前年同期比31.3%減）となりました。これは売上原価並びに販売費及び一般管理費の合計費用は全般的に抑制され減少したものの、それ以上に個人向けビジネスでの新たなE C決済会社とのシステム構築に時間を要したことを主な背景としてP r e－G A A Pが減少したことによるものです。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の現金及び預金の残高は165,974百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,082百万円減少いたしました。

主に受取手形、売掛金及び契約資産並びに有価証券が大幅に減少したことに加え、現金及び預金も大きく減少したこと等により、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ37,666百万円減少の362,650百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、繰延収益の大幅な減少や賞与引当金の減少等により前連結会計年度末に比べ22,285百万円減少の258,584百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は主に配当金の支払いによる利益剰余金の大幅な減少等により、前連結会計年度末に比べ15,380百万円減少の104,065百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2025年2月18日に公表した通期業績予想の変更はございません。

2025年12月期通期業績見通し（2025年1月1日～2025年12月31日）

連結売上高	288,600百万円
連結営業利益	60,300百万円
連結経常利益	57,600百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	38,900百万円

上記業績予想値の策定にあたって、想定しております為替レートの主要なものは下記の通りであります。

1 米ドル	154円
1 ユーロ	161円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	170,056	165,974
受取手形、売掛金及び契約資産	74,795	53,702
有価証券	40,839	30,345
棚卸資産	8,455	9,177
その他	13,950	13,815
貸倒引当金	△268	△198
流動資産合計	307,829	272,816
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,236	2,933
工具、器具及び備品（純額）	2,158	2,029
その他（純額）	154	171
有形固定資産合計	5,548	5,135
無形固定資産		
ソフトウェア	17,904	18,384
のれん	2,268	1,980
その他	11,220	10,124
無形固定資産合計	31,393	30,489
投資その他の資産		
投資有価証券	4,520	4,112
関係会社株式	1,236	717
繰延税金資産	47,638	47,216
その他	2,148	2,161
投資その他の資産合計	55,544	54,208
固定資産合計	92,486	89,833
資産合計	400,316	362,650

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,627	2,896
未払金	7,952	7,166
未払費用	11,291	9,552
未払法人税等	5,300	3,169
賞与引当金	7,410	1,897
繰延収益	221,386	210,643
その他	10,305	9,139
流動負債合計	267,274	244,465
固定負債		
退職給付に係る負債	7,677	7,597
その他	5,918	6,521
固定負債合計	13,595	14,119
負債合計	280,870	258,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,926	19,926
資本剰余金	27,857	29,149
利益剰余金	90,541	75,240
自己株式	△66,781	△66,234
株主資本合計	71,543	58,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	336	399
為替換算調整勘定	44,826	41,856
退職給付に係る調整累計額	259	208
その他の包括利益累計額合計	45,422	42,465
新株予約権	2,480	2,678
非支配株主持分	—	839
純資産合計	119,446	104,065
負債純資産合計	400,316	362,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	65,931	67,501
売上原価	16,015	16,417
売上総利益	49,915	51,084
販売費及び一般管理費	37,788	36,077
営業利益	12,127	15,006
営業外収益		
業務受託手数料	11	2
受取利息	522	831
為替差益	1,931	—
その他	51	10
営業外収益合計	2,518	844
営業外費用		
為替差損	—	2,892
持分法による投資損失	813	512
固定資産除却損	157	1
その他	10	36
営業外費用合計	981	3,443
経常利益	13,664	12,408
特別利益		
事業譲渡益	587	—
持分変動利益	1,934	—
特別利益合計	2,521	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	160
特別損失合計	—	160
税金等調整前四半期純利益	16,185	12,248
法人税等	5,431	3,502
四半期純利益	10,754	8,745
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△112
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,754	8,858

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	10,754	8,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111	62
為替換算調整勘定	2,777	△2,964
退職給付に係る調整額	14	△50
持分法適用会社に対する持分相当額	380	△5
その他の包括利益合計	3,285	△2,958
四半期包括利益	14,039	5,787
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,037	5,901
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△113

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	16,185	12,248
減価償却費	6,981	6,581
株式報酬費用	182	288
のれん償却額	481	169
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△212	△56
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	86	29
受取利息	△522	△831
持分法による投資損益 (△は益)	813	512
事業譲渡益	△587	—
持分変動損益 (△は益)	△1,934	—
固定資産除却損	157	1
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	160
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	11,977	17,042
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,718	△1,146
仕入債務の増減額 (△は減少)	△545	△552
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△2,091	△1,627
繰延収益の増減額 (△は減少)	△1,440	△3,731
自社株連動型報酬 (△は減少)	△1,062	△195
その他	△4,892	△5,544
小計	21,860	23,347
利息及び配当金の受取額	394	896
法人税等の支払額	△5,949	△5,451
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,304	18,793
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	—	△12,193
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△10	—
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	2,000	—
有形固定資産の取得による支出	△361	△301
無形固定資産の取得による支出	△7,294	△6,748
事業譲渡による収入	291	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,374	△19,243
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	43	—
自己株式の取得による支出	△11,282	△0
自己株式の処分による収入	42	426
配当金の支払額	△95,695	△23,371
非支配株主からの払込みによる収入	—	2,275
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106,892	△20,669
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,818	△4,718
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△92,143	△25,838
現金及び現金同等物の期首残高	261,265	187,392
現金及び現金同等物の四半期末残高	169,122	161,554

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(剰余金の配当)

当社は、2025年3月27日の定時株主総会決議に基づき、配当金24,158百万円の決議を行いました。この結果等により、当第1四半期連結累計期間において、利益剰余金が15,300百万円減少しております。

(追加情報)

(連結子会社について)

当社は、米国のリミテッドパートナーシップ形態の組織としてベンチャーキャピタル事業を営んでいるTrend Forward Capital I, L.P. (以後、TFI)に出資をしています。TFIの全ての議決権及び業務執行権限を保有しているのは2020年3月まで当社取締役であったワイエル・モハメド氏であり、一方当社は有限責任で経営参加資格のないリミテッドパートナーに過ぎず、TFIの経営への参加の権限及びその意思を持っておりません。しかしながら当社はTFIの出資総額の半分を超える額を拠出しており、またTFIの全ての議決権及び業務執行権限を保有しているワイエル・モハメド氏が「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第20号)における緊密な者とはならないことが証明できないため、同実務対応報告及び「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号)に従い、当社の連結範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	日本	アメリカズ	欧州	アジア・ パシフィック	計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	21,361	14,388	13,679	16,501	65,931	—	65,931
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	2,968	2,506	16,011	21,504	△21,504	—
計	21,380	17,356	16,185	32,513	87,435	△21,504	65,931
セグメント利益	3,470	2,134	2,890	3,873	12,367	△240	12,127

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アメリカズ … 米国

欧州 … アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック … 台湾・オーストラリア・シンガポール・UAE

3 セグメント利益の調整額△240百万円は、その全額がセグメント間取引の調整であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	日本	アメリカズ	欧州	アジア・ パシフィック	計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	22,072	14,174	14,261	16,993	67,501	—	67,501
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	3,347	2,056	9,132	14,554	△14,554	—
計	22,091	17,521	16,318	26,125	82,056	△14,554	67,501
セグメント利益	4,771	3,312	2,954	3,891	14,929	77	15,006

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アメリカズ … 米国・ブラジル

欧州 … アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック … 台湾・オーストラリア・シンガポール・UAE

3 セグメント利益の調整額77百万円は、その全額がセグメント間取引の調整であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。